

## 優秀賞

# 横浜市立南吉田小学校 「MYキッズスポーツフェスティバル2019 運動会」

### 学校紹介

市中心部に程近く、創立115周年を迎える。伝統的なお祭りや古くからの商店街のある人情味あふれる地域だが、近年外国からの転入が急増し、全校の60%近くが外国籍や外国につながる児童で、多文化共生を学校の特色として打ち出している。

### 取組概要等

#### 【取組概要】

「MYキッズスポーツフェスティバル2019 運動会」において「各国をつなぐ模擬聖火リレー」と「多言語アナウンス」の取組を実施した。

#### 【取組のねらい】

多くの国や地域から児童が集まっている実態を踏まえ、多文化共生を学校の特色として様々な教育活動を展開。運動会でも本校ならではの国際色あふれる取組を行い、様々な国や地域にルーツをもつ児童の活躍の場をつくり、相互理解を深めることをねらいとしている。

#### 【創意工夫した点】

模擬聖火リレーでは、開会セレモニーの中で行われるリレーの走者をいくつかの国や地域の代表児童が務めた。ベトナム、韓国、フィリピン、台湾、中国、日本の児童が代表になり、保護者の協力も得て用意したそれぞれの国や地域らしい衣装に身を包んだ児童が晴れ晴れとした様子で模擬トーチを持って走った。多言語アナウンスは、各国や地域にルーツをもつ児童が担当し、母語で運動会中の競技や演技の紹介をした。今年も、日本語を含む6カ国語でアナウンスを実施した。日本での生活が長く母語を話せない児童もおり、担当教員と共に原稿の準備や練習を重ね、当日は自信をもって話す姿が見られ、運動会を盛り上げていた。

#### 【取組結果や効果】

運動会で通常の競技や演技に加えてこれらの取組を行うことで、本校に通う子どもたちやその保護者にとって、日本を含め、どの国や地域出身であっても活躍できる晴れの場を増やしている。また、運動会は地域や関係機関など多くの来賓や参観者が来校する大きな行事のため、本校の良さ・特色である多文化共生について紹介する絶好の機会になっている。

#### 【来年度以降の展開予定など】

来年度も引き続き取組を行う予定である。オリンピック・パラリンピック開催年であり、さらに盛り上がるような工夫を加えていきたい。

## プログラムの様子



今年度は、6つの国や地域の代表児童が、それぞれの保護者の協力を得て用意された衣装に身を包み、ランナーを務めました。



代表児童の手から手へ、国や地域を結ぶ模擬トーチが渡されます。大きな拍手を受けながら、晴れ晴れとした表情で走る姿が印象的でした。



代表児童がつながる国の言語を担当してアナウンスします。ふだんは日本語だけを話している子もあり、この日に向けて、一生懸命に練習を重ねました。



会場には在籍児童につながる国や地域の旗も掲示しました。

## 東京2020アスリート委員会からのコメント

6カ国語のアナウンスは、オリンピック・パラリンピックという世界の祭典を連想させる多様性と調和を体現するものであり、競技ではなく支える側からの工夫という点も素晴らしい取組でした。

## 受賞のコメント

多くの国や地域につながる児童が在籍する状況は、今後、全国の学校にも広がっていくでしょう。学校行事に多文化共生の要素を加えることは、グローバルな世界を生きる子どもたちの未来にとっても大切なことと考えます。